

平成20年 第5回甲賀市議会臨時会

中嶋市長は2期目の所信表明 選挙管理委員などを選出

平成20年第5回甲賀市議会臨時会が11月17日に開催され、議会権限による選挙4件が執行され、次のとおり選出されました。

また、議会開会にあたって中嶋武嗣市長が2期目の市政運営について所信表明を行いました。

中嶋市長の所信表明の要旨は次のとおりです。

〔市長所信表明の要旨〕

平成20年第5回臨時会が開会されるにあたり、2期目の市政を担うにつぎまして、私の決意と所信の一端を申し述べさせていただきます。

私は、これからの4年間を市政安定期へ導く正念場として位置付け、総合計画の理念を尊重し、お示した「7つの約束」の実現に向け、持てる全ての力を注いでまいります。

まず、「共感できる共生社会の実現」であります。特に、市民の声を直接的に反映させていく「市長へのトーク」をこれまでどおり実施していかるとともに、「市政の近況を説明し意見交換する」出前講座の制度化や、各種審議会等の構成を見直

し、「ひと」と「地域」を重視しながら市政参画の機会を増やしてまいりますと存じます。

2点目の「安全安心な暮らしへの約束」につきまして、公立甲賀病院の移転は、計画どおり水口・松尾台地区へ平成24年開院に向けて事業推進をまいります。同時に、国道一号の交差点設置やコミュニティバスの運行などのアクセスマの充実に加え、市道新設に取り組みることにより、利便性が高くなるものと考えております。

また、水口医療センターは、現在の介護療養病床が平成24年度から国の制度により廃止されることか

ら、小規模老人保健施設へ移行し、医療確保を図る考えであります。さらに、障害者自立支援のサービスにかかる利用者負担につきまして、市民税非課税者を対象に、応益負担金の一定免除措置を講ずることといたします。

3点目の「子どもと高齢者を大切にする」施策につきましては、福祉医療の中学校卒業までの完全無料化に向けて前向きに検討してまいります。また、保育園の休日保育および待機解消、学童保育所の受け入れ態勢の整備や定員拡充を図り、段階的に実現させていくこととしております。また、高齢者や障害者、家庭介護をサポートする相談センターなどの支援策の新たな設置に努力してまいります。義務教育施設の耐震化につきましては、残る7校10棟について優先順位をつけながら平成24年度を目途に完工させていきたいと考えております。

4点目の「たくましい産業の育成」につきましては、信頼性の高い

〔選挙〕（敬称略）

甲賀市選挙管理委員会 委員の選挙

●任期満了に伴う選挙

任期／平成20年12月1日から4年
望月 義久 吉田 徳一
大原 直美 奥村 美津代

甲賀市選挙管理委員会 委員補充員の選挙

●任期満了に伴う選挙

任期／平成20年12月1日から4年
西村 善男 竹村 久一
下川 昂 酒井 義仁

公立甲賀病院組合 議会議員の選挙

●甲賀市選出の組合議会議員1名
（友廣 勇議員）が辞職され、欠員が生じたことによる補充選挙
任期／平成21年10月31日まで
白坂 萬里子

滋賀県後期高齢者医療 広域連合議会議員の選挙

●甲賀市選出の広域連合議員の任期満了による欠員が生じたことによる補充選挙
任期／当選者の役職任期による
中嶋 武嗣

企業進出を促すための新たな工業用地確保を喫緊の課題として位置付け、甲賀市ブランドへの相乗効果を図ってまいります。有害鳥獣対策につきましては、県の積極的な取り組みも強く要請しながら強化してまいります。

5点目の「にぎわいある甲賀市の発信」につきましては、当市の保有する自然、歴史、文化、また忍者など特化された資源と交通の利便などを組み合わせ、戦略的な観光行政を展開していくために広域連携をさらに拡大し、市域を超えた話題性

の高い観光交流事業に発展させていく考えであります。

6点目の「スリムでスピーディーな行政の確立」では、多様なニーズに応えていく質の高い行政サービスを提供していくには、時代に即した改革が必要であり、人やモノに要するコストを最小限に抑制していかなければなりません。特に、職員数につきましては、計画を上回るペースで適正規模に持っていきけるよう、組織機構全体の在り方を考え合わせ取り組んでまいります。また、市役所窓口の時間延長や市立図書館休館日のスライドにつきましても、早期に実施していきます。

7点目の「透明感を高め、分かりやすい情報発信」では、公平・公正な行政運営を行う上で不可欠なことであり、これまで以上に積極的な情報公開に努めていきながら、可能な限り民間企業に近づけた手法を取り入れていくことをいたします。

これらを実行していくためには、市民皆さんのご理解が欠かせず、私自身、今後の指針として、聖の帝・仁徳天皇の「民のかまどは賑いにけり」を肝に銘じながら、私をはじめ職員個々がさらに「現場主義」を徹底し、共感と実感を得られる行政経営に努力してまいります。



■2期目にあたっての所信を述べる中嶋市長

冬期における雪寒対策

市内道路に凍結防止剤設置



●雪寒対策期間 12月1日(月)～3月19日(木)

滋賀県建設業協会甲賀支部の協力を得て冬期雪寒対策を実施します。

路面凍結や積雪時には、市内の主要な市道を中心に融雪剤散布作業を実施します。通勤時間帯までの限られた時間内作業であるため、散布作業がすべてできない場合もあります。

凍結が予想される日は、時間に余裕をもって安全運転を心がけましょう。

なお、道路上に置いてある凍結防止剤は、必要に応じて散布していただいで結構です。

問い合わせ
管理課 道路河川担当 ☎65-0722 FAX63-4601



■市長から花束を受け取る相樂さん（中央）と息子さんの惣太郎さん(右)

県内最高齢者に 相樂とめさん(107歳)

このほど信楽の相樂とめさんが県内最高齢者になりました。相樂さんは明治34年生まれの107歳、現在は、特別養護老人ホーム信楽荘で多くのお友達と一緒に元気に過ごされています。

最近、車いすでの移動が多いようですが、日々、施設の職員さんと一緒に植えられた野菜の収穫を楽しまれているとのこと。

11月14日には、中嶋市長が相樂さんを訪問、お祝いの花束を贈り、ご長寿をお祝いしました。市長の「食べ物は何が好きですか」との質問に相樂さんは「何でもおいしくいただきます」と元気に答えておられました。これからもますますお元気にお過ごしいただきたいものです。